

「アンケート結果」について

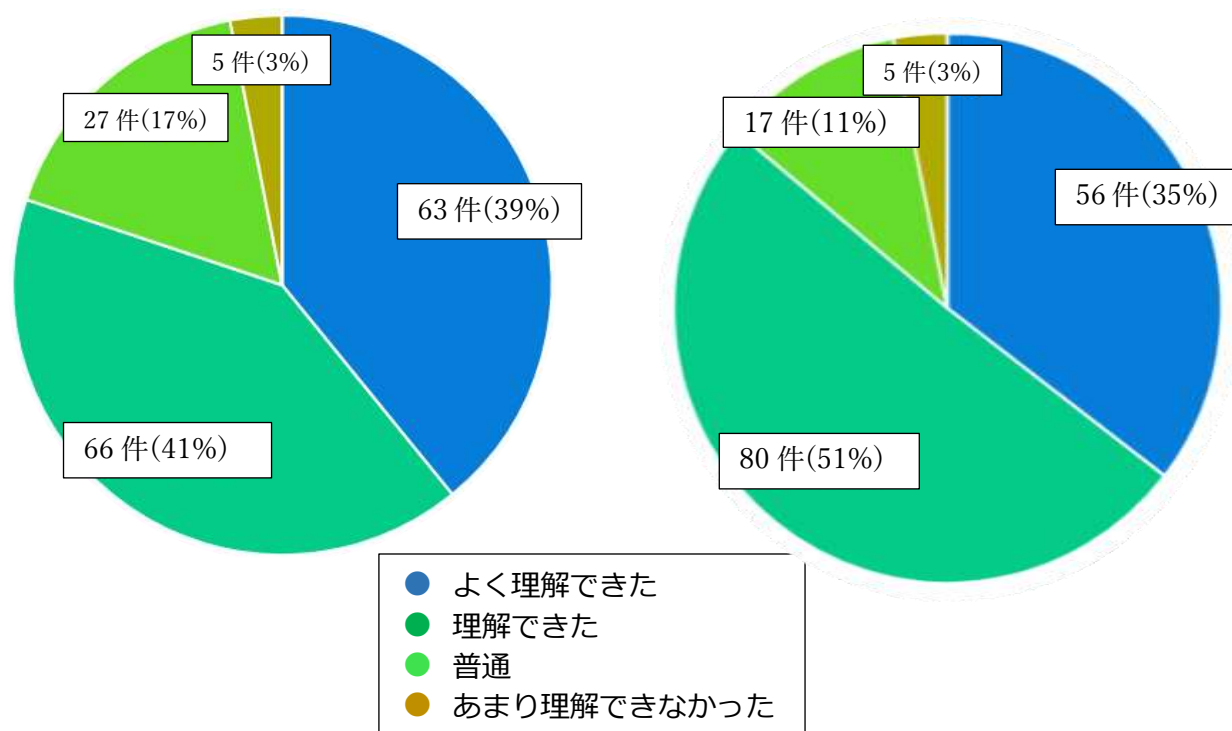
1 参加者アンケート

初心者向けスマホ教室の参加者から、教室の内容、講師の進め方、サポーターの教え方、スマホ教室を知り合いや友人に勧める可能性についてアンケートを実施した。

【基礎講座】回答人数：161 人

【応用講座】回答人数：158 人

(1) 教室の内容について



	基礎講座	応用講座
「よく理解できた」「理解できた」と回答した人数	80%	86%

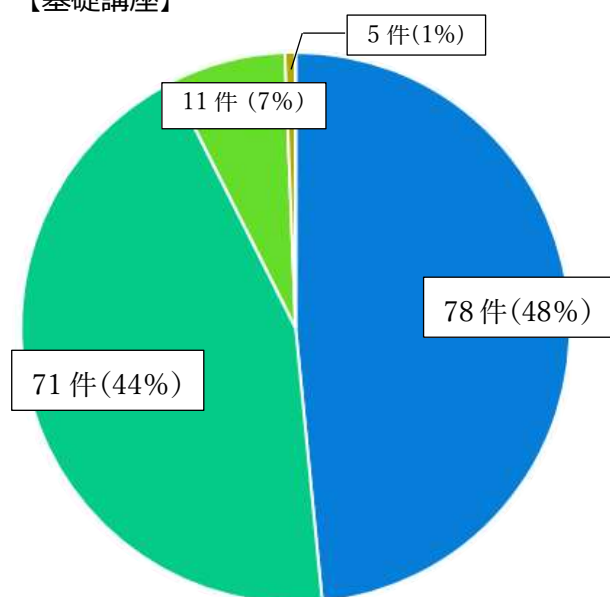
テキストの説明欄に、この操作はなぜ行うのか、どういうときに役立つのか等の説明文を加え、なぜこの操作を行うのかを理解した上で、実際に参加者にスマートフォンを操作してもらうように心がけた。

教室の内容についての参加者意見

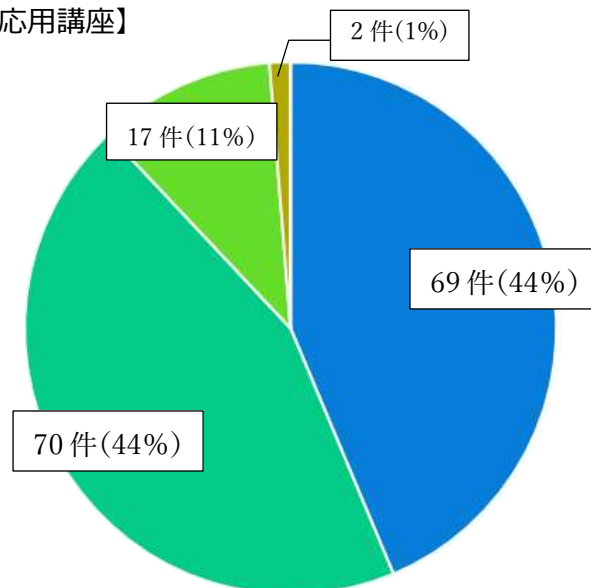
- ・日頃やってみたいと思っていたことが分かった。
- ・知っているつもりでも新しい発見が沢山あって楽しく講座を受けさせてもらった。
- ・電話とメールしか使っていなかったのが、インターネットや地図を教えていただいて参考になった。
- ・スマートフォンをなんとなく使っていた。アプリのインストール方法や地図について、分からなかったところが今回の教室で分かった。

(2) 講師の進め方について

【基礎講座】



【応用講座】



- とても分かりやすかった
- 分かりやすかった
- 普通
- 少し分かりにくかった

	基礎講座	応用講座
「とても分かりやすかった」「分かりやすかった」と回答した人数	92%	88%

今回講師に立候補してくれた学生は全部で 11 人だった。その内、昨年度の経験者が 6 人、未経験者が 5 人であった。

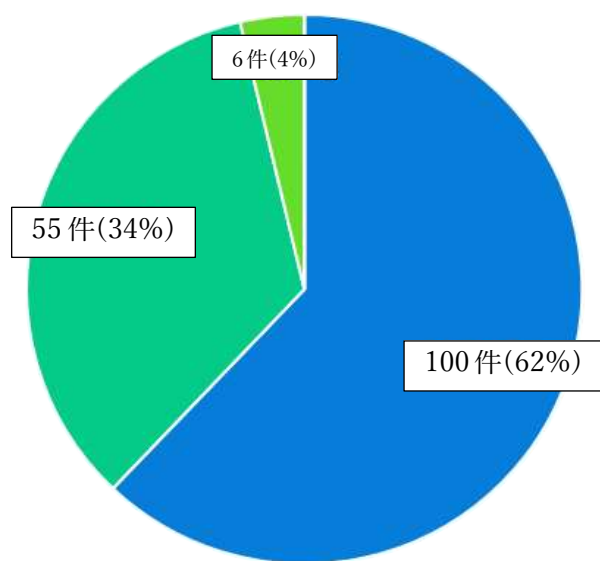
スマホ教室の時間内では教えきれない内容は付録としてテキストに掲載しているが、参加者の進み具合を見て、付録も追加で教える等、状況判断をしながら臨機応変に対応できていた。

講師の進め方についての参加者意見

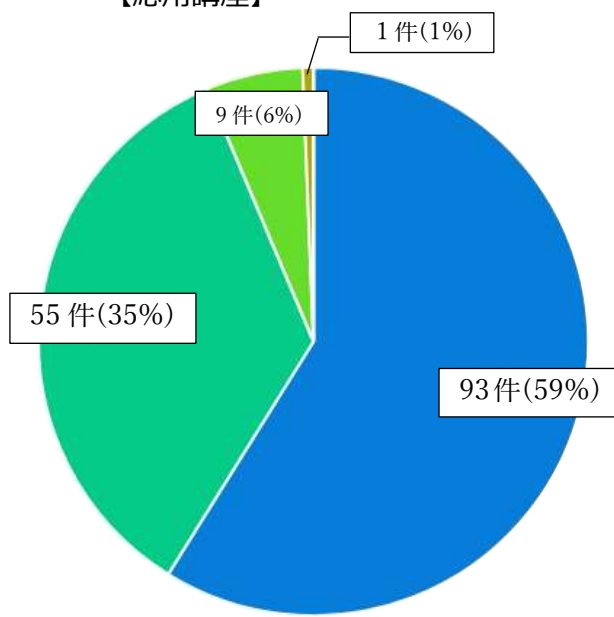
- ・ 難しい質問をしてもとても優しく教えてくれた。
- ・ とても親切丁寧な教え方だった。
- ・ 熱心に積極的に教えてくれた。
- ・ 説明する方の声が聞きやすかった。

(3) サポーターの教え方について

【基礎講座】



【応用講座】



- とても分かりやすかった
- 分かりやすかった
- 普通
- 少し分かりにくかった

	基礎講座	応用講座
「とても分かりやすかった」「分かりやすかった」と回答した人数	96%	94%

基礎講座・応用講座の両方で 90%を超える結果となった。

休憩時間も使いながら、熱心に操作について質問をする参加者が殆どだったが、サポーターが根気強く教えてくれていたことが、高い評価につながったと考える。

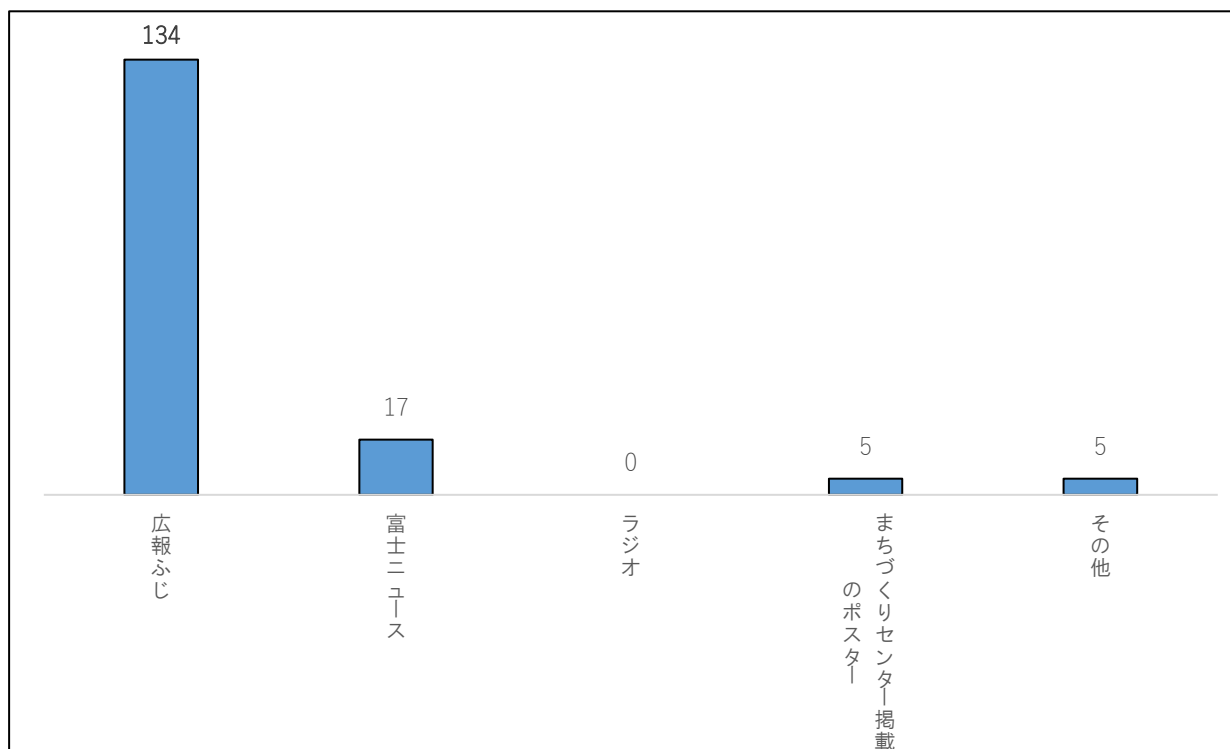
操作が難しいと感じ、すぐに諦めてしまう方もいる中で、根気強く丁寧に説明することが、理解を深める手助けとなったと考える。

サポーターの教え方についての参加者意見

- ・マンツーマンで教えてくれたので贅沢な時間だった。
- ・若い大学生に今まで聞けなかったこともわかりやすく教えてもらい、とても身になる2時間だった。
- ・身内には気軽に教えてもらえなかったもので、親身に聞いてもらえてよかった。
- ・サポーターが実際にスマートフォンを使って操作方法の説明をしてくれたので分かりやすかった。

「〇〇さんが凄く良かった」「〇〇さんの説明はわかりやすかった」等、学生の名前を挙げて絶賛する声も多くあった。

(4)「初心者向けスマホ教室」を何で知りましたか



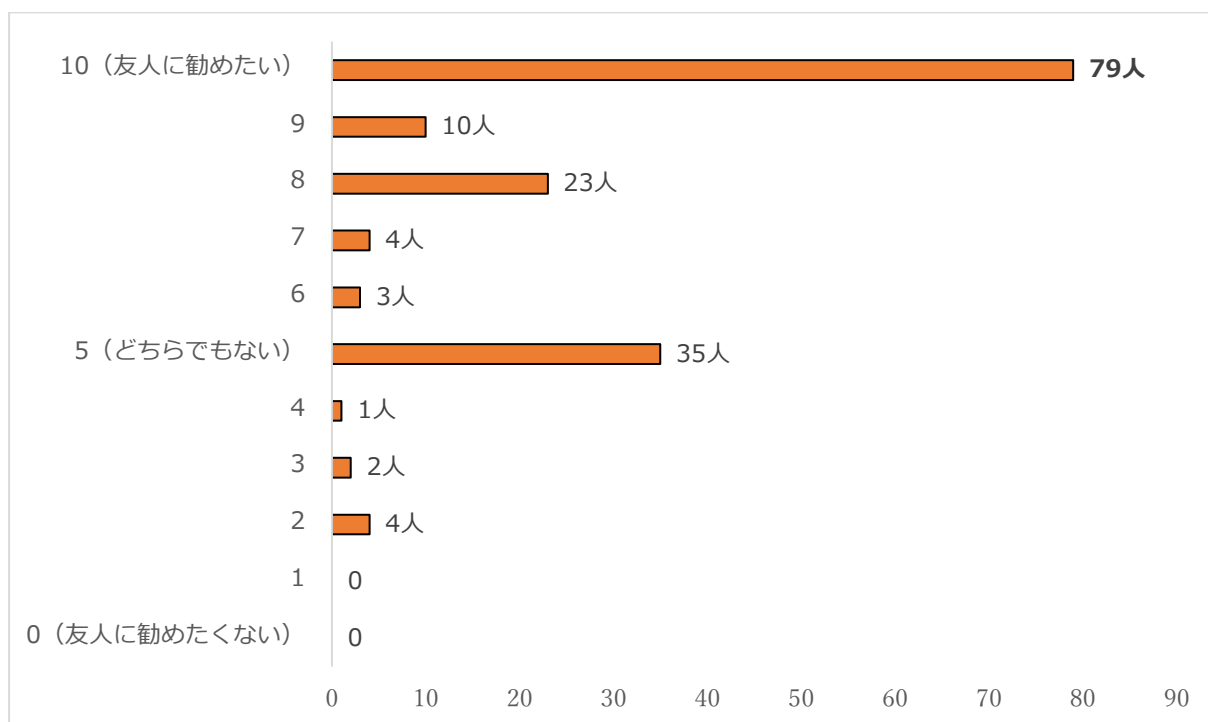
<その他の回答>

- ・友人、家族からの紹介 2件
- ・市役所を訪れた際に知った 2件
- ・市ウェブサイト 1件

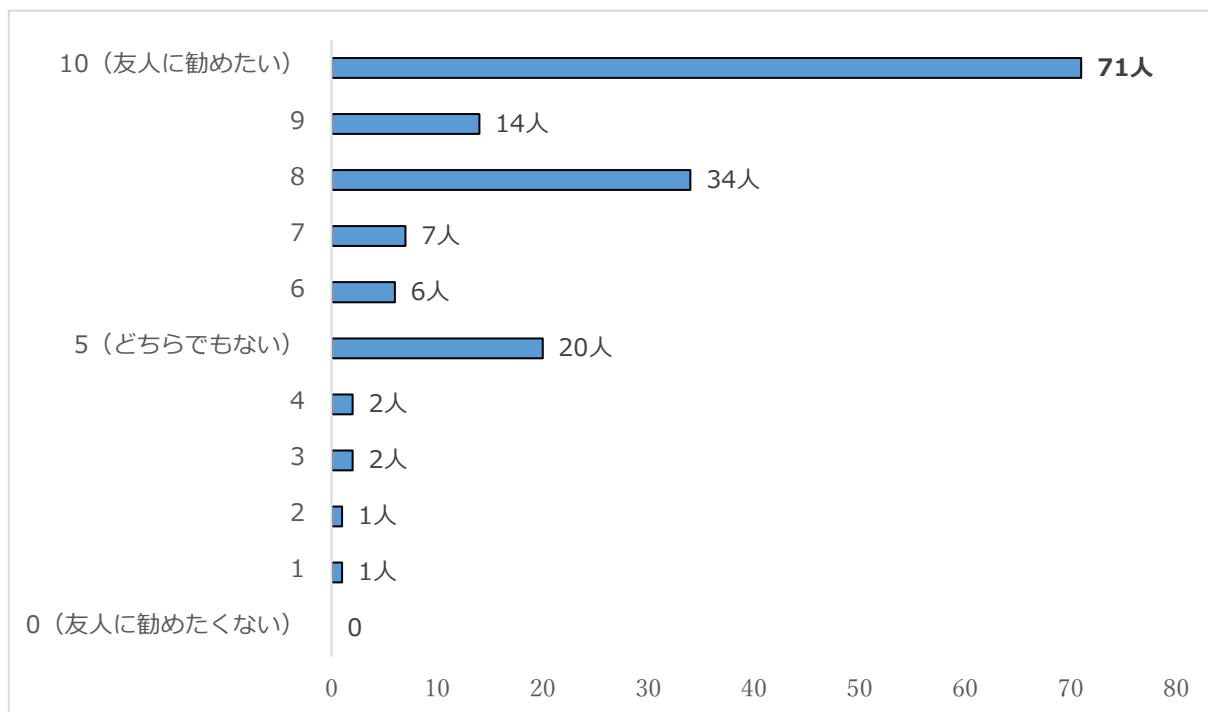
8割の参加者が広報紙を見て本事業を知ったことがわかる。本事業を広く周知するためには、紙媒体への掲載は不可欠となるため、来年度も引き続き、広報紙や富士ニュース（地方新聞）への掲載は継続して行っていきたい。

(5) スマホ教室を知り合いや友人に勧める可能性について

【基礎講座】



【応用講座】



●基礎講座・応用講座ともに、10（友人に勧めたい）と回答した参加者が最も多かった。

2 講師・サポーターアンケート

講師・サポーターを務めた学生からアンケートを実施した。(回答数：13人 / 20人中)

- (1) 大学で学んだことを活かすことができたか。

活かすことができた	活かすことができなかった
11人	2人

- (2) 【サポーターを経験した学生のみ回答】

2人以上の受講者に対して1人で対応することができたか。

対応することができた	対応することができなかった
13人	0人

- (3) 本事業に講師・サポーターとして参加したいと思ったきっかけ（複数回答可）

就職活動にこの経験を活かしたいと思ったから	8人
将来の役に立つと思ったから	7人
謝礼金の金額が魅力的だったから	7人
デジタル格差に興味があったから	4人
大学で学んだことを活かせると思ったから	3人
友人が参加するから	2人

- (4) 【講師を経験した学生のみ回答】

講師を実際にやってみてどうだったか。

- ・高齢者向けにゆっくりしゃべり、時間配分のバランスを取ることに気を遣った。
慣れれば、時間通りに進行できた。
講師向けに台本が配られたが、台本をベースに一部自分で書き込みを追加したらスムーズに進められた。
- ・大学生は参加者の孫と同じくらいの世代にあたるということから、少し崩した言葉遣いやわかりやすい言葉など、毎回模索しながら運営することができたため、考えて実行することが身につけられた。
- ・最初はとても緊張したが、とても楽しく、皆さんが私の話をちゃんと聞いて頑張ろうとしているのがとても嬉しかった。
- ・ペース配分を掴むのが大変だったが、大変だったのは1回だけで、2回目以降はサポーターに参加者の様子を確認しながら調整をする事ができた。
自分が講師を担当した教室では、相談会の時間を多く取る事ができたので、その分、参加者が相談会で沢山操作に対する悩みを相談できたことが良かったと考える。
- ・全体の様子を見て、進行のスピードやタイミングを考えるのが大変だった。聞き取りやすい声量やスピードで話すのが難しかった。

(5) 来年度もサポーターや講師として参加したいと思うか。

参加したい	卒業予定	参加したくない
9 人	4 人	0 人

(6) 来年度サポーターや講師として参加する場合、参加しやすい曜日（2 つ以上選択）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
0 人	0 人	2 人	0 人	1 人	8 人	8 人

- ・土曜日、日曜日を希望する回答が最も多かった。
- ・平日は従事不可というわけではなく、履修状況によって変わるため、現段階では回答が難しいとの意見があった。

(7) 相談会の設定時間（約 20 分～30 分間）は適切だったか。

もっと短い方がよい	適切	もっと長い方がよい
0 人	10 人	2 人

(8) 相談会で、受講者の人からどんな質問を受けたか。（複数回答）

インターネットでの商品の購入について	3 件
L I N E 通話・メッセージの使用方法について	5 件
S N S（インスタ・X・FaceBook 等）について	4 件
Q Rコードの読み取り方法について	5 件
メールの使い方について	5 件
インターネットやW i F i について	1 件
アプリのインストール方法について	4 件
地図アプリについて	3 件
電話の掛け方について	0 件
L I N E スタンプの購入方法について	3 件
その他	4 件

その他

- ・写真の撮り方
- ・スマホの料金プランについて
- ・P a y P a y やニュースアプリの使い方
- ・何か具体的に「これを聞きたい」ということではなく、「分からないことが分からない」とよく言われた。

(9) 来年度の教室に反映してほしいこと

- ・参加者3人に対してサポーター1人で対応する教室があったが、3人の高齢者を一度に対応するのは難しい。サポーター1人に対して参加者2人が最大限対応できる範囲である。
- ・謝礼金の振込時期を説明会で教えてほしい(12月だったら1月末に振り込む等)
- ・応用講座のときに基礎講座の復習の時間を設けると良いのではないかと感じた。
- ・同じAndroidでも、「シンプルスマホ」「らくらくスマホ」「かんたんスマホ」の参加者が殆どであったため、座る席も「シンプルスマホ」「らくらくスマホ」「かんたんスマホ」で分けて座った方が同じ機種同士で教えやすい。

3 所感

令和3年度から開始したスマホ教室は、今年度で4年目を迎え、地域住民のデジタルリテラシー向上に貢献しており、参加者アンケートの結果からも、本事業の有効性が実証されているため、今後は、

- ・多様なニーズへの対応

再受講者を含め、より幅広い層が満足できるようなカリキュラムの充実

- ・学習の継続性

復習ページの作成やテキストの電子化などを行うことで、場所や時間に縛られない学習環境の提供

などの取組を強化することで、より多くの方々に参加していただけるような魅力的なプログラム作りが求められていると感じた。

また、今後、再受講者の割合は増えていくと予想される。(今回は25名/195名、約13%)

この傾向を踏まえ、毎年同じ内容を繰り返し教えるのではなく、再受講者にも新たな学びを提供できるような取り組みも今後は求められてくると感じた。

また、テキスト以外のことも自由に相談できる「相談会」については、設定時間(約20分～30分間)が「適切」と回答した学生が10名、「もっと長い方がいい」と回答した学生が2名となった。休憩時間を使って学生に質問している参加者も多く、本当に学びたいこととテキストの内容が相違していた可能性もあるので、スマートフォンに対する疑問の解消に繋がるよう、今後も「相談会」の時間は確保して続けていきたい。